

●プレコンGRES

プレコンGRES 1：「PTSD 構造化面接－CAPS を理解する」

開催日時	2026年7月 4日（土） 14時00分～17時00分（3時間） 2026年7月18日（土） 15時00分～16時00分（1時間） ※合計4時間、両日とも参加が必要です
実施方法	オンライン開催（Zoom）
講師	加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）
定員	40名
参加費	一律：10,000円
対象者	医師、心理職、精神保健福祉士、看護師、保健師などで、臨床経験が2年以上あり DSM-5のPTSD 診断基準について知識のある方
プログラム	<p>本研修ではPTSD診断の際に必要な心構え、尺度、面接法について学びます。特に、臨床、研究、そして司法など、さまざまな場面で確定診断を付ける上で、重要な技法である構造化面接法を習得する機会になります。今回取り上げる、CAPS(Clinician-Administered PTSD Scale)は、米国国立PTSDセンターで開発され、現在もっとも精度の高いPTSD診断用構造化面接尺度として広く知られています。国際的にもこれまで各国で数多くの臨床研究、薬剤試験等で使用されてきました。今回はDSM-5に準じて改訂されたCAPS-5を学びます。</p> <p>研修内容（研修内容は変更の可能性があります）</p> <p>◆1日目：14:00～15:00 PTSDの診断に関する諸問題（60分） 15:10～16:30 CAPS-5の動画による評価方法の実際（80分） 16:30～17:00 質疑とまとめ（30分）</p> <p>◆2日目：15:00～16:00 具体的な実施方法に関する質疑（60分）</p>

プレコンGRES 2：「認知処理療法の基本：はじめて学ぶ方のための入門研修」

開催日時	2026年7月24日（金） 11時00分～13時30分（2.5時間）
実施方法	現地開催
講師	伊藤 正哉（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター） 猪俣 珠恵（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）
定員	50名
参加費	会 員： 5,000円 非会員： 7,000円
対象者	心的外傷後ストレス症や心的外傷的出来事を体験した人の支援に当たる方や、関心のある方。学生を含め、初学者のかたも可。
プログラム	<p>認知処理療法(Cognitive Processing Therapy)は心的外傷後ストレス症に対して最もエビデンスが確立された心理療法のひとつです。本ワークショップでは、その基本的な考え方を学びます。簡単なエクササイズを実施して、実践的に学ぶ機会も含まれます。セルフヘルプ用の書籍や、さまざまな資料の活用なども紹介します。ただし、本プログラムはあくまでも初学者のかたのための基本的な内容です。臨床現場での認知処理療法の実践のためには、別途、より本格的な研修を受講いただく必要があります（その情報についても研修で紹介する予定です）。</p>

プレングレス3：「認知行動療法の統一プロトコル（UP）：うつや不安やPTSDに汎用的に適用できるUP入門研修」	
開催日時	2026年7月24日（金） 14時30分～17時00分（2.5時間）
実施方法	現地開催
講師	伊藤 正哉（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター） 金子 響介（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）
定員	50名
参加費	会 員：5,000円 非会員：7,000円
対象者	トラウマへの心理的なケアに関心のある方で、PTSDだけでなく、うつや不安など様々な症状にも対応したいと考えている方。学生を含め、初学者のかたも可。
プログラム	トラウマティックな出来事を受けた人が示すメンタルヘルスの問題はPTSDだけではなく、うつや不安など様々な感情にまつわる困難があります。「感情症のための診断を越えた治療のための統一プロトコル（Unified Protocol for Transdiagnostic Treatment for Emotional Disorders）」は、様々な精神症状や、それらの併存症までを踏まえて対応できる認知行動療法です。世界中で様々な状態に対して多くの研究が報告され、PTSD患者に対するランダム化比較試験も報告されつつあります。PTSD診断に特化しない、幅広い状態像に対応できて、基本的な考え方を知るだけでも臨床的に役立つ心理療法アプローチとして期待されています。本プログラムでは、UPの基本的な考え方をお伝えします。

プレングレス4：「コミュニティ・レジリエンシー・モデル」	
開催日時	2026年7月24日（金） 9時00分～12時00分（3時間）
実施方法	オンライン開催（Zoom）
講師	服部 信子（米国心理療法士・サイコロジスト）
定員	なし ※運営上の都合により、参加者数等を制限させていただくことがあります。
参加費	会 員：5,000円 非会員：7,000円
対象者	対人援助職の方、現場での取り組みの普及や実装に関心がある方（行政職、教育職など）
プログラム	コミュニティ・レジリエンシー・モデル（コレモ）は、トラウマリソースインスティテュートが開発した神経科学に基づくウェルネスプログラムであり、ストレスとトラウマの神経科学をわかりやすく解説する心理教育と、感覚に働きかけて神経の安定化を促す具体的なスキル（ボトムアップ技法）からなります。本プログラムでは、トラウマインフォームドケアの実践としての可能性、現場での障壁軽減への貢献、そしてコレモに関する研究知見を紹介しながら、コレモの全体像をお伝えします。またコレモは「まず自分から」神経の状態を整えることを大切にしており、ミニワークを通して神経系の調整メカニズムへの理解を体験的に深めます。

プレコンGRES5：「支援者の二次受傷を防ぐ ～ TIC による安全な組織づくり～」	
開催日時	2026年7月24日（金） 14時00分～16時30分（2.5時間）
実施方法	オンライン開催（Zoom）
講 師	野坂 祐子（大阪大学大学院 人間科学研究科） 大岡 由佳（武庫川女子大学 心理・福祉学部 社会福祉学科）
定 員	なし ※運営上の都合により、参加者数等を制限させていただくことがあります。
参加費	会 員：5,000円 非会員：7,000円
対 象 者	対人援助職の方、及び対人援助職を志している方（学生含む）
プログラム	トラウマの影響を理解して関わるトラウマインフォームドケア（TIC）では、クライアントがかかえるトラウマの影響を認識し、配慮するだけでなく、支援業務及び関係性において支援者自身が受けるトラウマも自覚し、適切に対処することが求められる。なかでも、業務のなかでの直接的トラウマ・間接的な影響である二次受傷の予防と対処に努めることは、支援者の精神健康を守るだけでなく、安定した支援関係を築くことにもつながる。本プログラムでは、TICの理念を共有しながら、支援者の二次受傷に焦点をあてた講義とワークを行う（原則、ブレイクアウトルームでの小グループでの話し合いに参加いただきます）。

プレコンGRES6：「子どものPTSD アセスメント ～ CAPS-CA-5 の実践～」	
開催日時	2026年7月24日（金） 13時00分～17時30分（4.5時間）
実施方法	現地開催
講 師	亀岡 智美、酒井佐枝子、高山 桃香（兵庫県こころのケアセンター）、 田中英三郎（東京大学相談支援研究開発センター）
定 員	40名
参加費	一 律：10,000円
対 象 者	医師、心理職、精神保健福祉士、看護師、保健師などで、臨床経験が2年以上あり、PTSD診断基準について知識のある方
プログラム	本研修では、子どものPTSD評価のゴールドスタンダードとされている構造化面接であるCAPS-CA-5(Clinician-Administered PTSD Scale [Adapted for DSM-5] Childhood and Adolescence Version)の実践方法を理解し、子どものPTSDを適切に評価できる技術を学びます。 1. 子どものPTSDの診断基準 2. アセスメントの事前準備と導入方法 3. CAPS-CA-5の実施方法 4. 結果の共有とケアへの導入 5. 質疑応答

プレコンGRES7：「フィンランドの対話型子育て支援 “Let’s Talk about Children”」	
開催日時	2026年7月24日（金） 10時00分～12時00分（2時間）
実施方法	現地開催
講 師	上野 里絵（共立女子大学） 都築 歩美（株式会社円グループ 訪問看護ステーション卯）
定 員	40名
参加費	会 員：5,000円 非会員：7,000円
対 象 者	医師、看護師、保健師、心理職、福祉職などで、子ども・子育て支援、母子保健、精神保健に関わる方
プログラム	Let’s Talk about Children (LTC) は、児童精神科医ソランタウス博士によって開発された、精神疾患を有する親とその子どもの尊厳の尊重を基盤とするエビデンスに基づく支援法である。LTCの目的は、親が「自分らしい子育て」を実現し、「子どもの健やかな成長発達」を支えることであり、諸外国では妊娠期から18歳までの子育て家庭を対象に、保健医療福祉や教育の現場で広く導入されている。本研修では、LTCの基本理念や概要に加え、精神科訪問看護におけるLTCの具体的な実践事例を共有する。本研修での学びを通じ、支援のあり方を再考するとともに、さまざまな現場での活用法を考える。なお、LTCを実践するためには、正式な研修会の受講が必要であり、その情報も紹介予定である。